



はっとり 服部のりふみ

服部紀史後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <https://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

令和8年度の施政方針の概要

定例会の冒頭、市長から施政方針が述べられました。その中で基本政策として、第2次恵那市総合計画が令和7年度をもって終了することから、次期計画となる第3次恵那市総合計画を策定し、その構成は、20年後を見据えた長期的な基本構想と、具体的な取組を定めた基本計画からなり、将来像を「自然とともにひととまちが輝く、活力ある恵那」とし、以下の4つの基本方針に沿って進めていきたいと述べられました。

- 基本方針1 未来を担うひとを育む
- 基本方針2 安心・健康に暮らせる
- 基本方針3 安全・快適に暮らせる
- 基本方針4 活力・魅力を生み出す

定例会で議決された主な内容

専決処分

衆議院選挙に係る経費について、一般会計補正予算（第8号）として専決処分

人事案件

人権擁護委員の任期満了に伴い、新たに4名の方を候補者として推薦するための選任同意

条例の制定

地方自治法の一部改正に伴い、同法を引用している条例の条すれに対応するため、関係する4つの条例を一つに纏め改正

条例の一部改正

- ① 法令等の改正に伴うもの
 - 恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
 - 恵那市職員の旅費に関する条例
 - 恵那市法令順守の推進等に関する条例
 - 恵那市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例
 - 恵那市国民健康保険条例
- ② 報酬審議会からの答申に基づくもの
 - 恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
 - 恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例
- ③ 人事院勧告によるもの
 - 恵那市職員の給与に関する条例
- ④ その他
 - 恵那市明智回想法センター条例
 - 恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例
 - 恵那市分担金等徴収条例
 - 恵那市自転車駐車場条例
 - 恵那市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
 - 恵那市こども園設置条例
 - 恵那市議会議員及び恵那市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例
 - 恵那市議会議員及び恵那市長の選挙におけるピラの作成の公営に関する条例

その他の議案

財産の処分1件、和解及び損害賠償の額を定めること1件、市道路線の廃止、認定、変更それぞれ1件、恵那市過疎地域持続的発展支援計画を定めること1件、契約の締結1件

補正予算

一般会計ほか全ての特別会計及び企業会計

当初予算

一般会計	309億4,000万円	（前年度比	△6億1,000万円）
特別会計	121億520万円	（	△3億2,270万円）
企業会計	91億7,060万円	（	+4,540万円）
合計	522億1,580万円	（	△8億8,730万円）

3月議会のトピックス

- 第3次恵那市総合計画に基づく予算執行が新年度からスタート！
- 一般会計当初予算は前年度比1.9%減の309億4千万円
- 議員の報酬や常勤の特別職の給与が報酬審の答申を受け改訂
- 議会会議規則の改正により「反問権」が認められました。

気になるトピックス

恵那市歴史博物館（仮称）整備について

令和11年4月の開館を目指し検討が進められている、旧岩村振興事務所の2階部分を中心とした整備について、博物館として整備を行うよう「恵那市歴史博物館（仮称）整備基本計画」が纏められました。

整備内容は、おおご遺跡資料館（東野地内）、岩村歴史資料館、岩村民俗資料館、山岡郷土資料館及び串原郷土館を移転統合するもので、計画のポイントは次の通りです。

- 基本理念 地域をつなぎ、多様な歴史と文化を未来に活かす博物館
- 博物館の使命 恵那の豊かで多様な「恵み」を育む
- 展示コンセプト 恵那の「恵み」を知る
～物語り・地域語り・人語りへのいざない～



2階 配置図

地域公園整備について

岩村地域自治区運営協議会では、岩村地域多目的広場整備検討委員会を昨年12月に組織し、具体的な整備に向けた検討が進められてきました。昨年12月の私の一般質問でも取上げ、整備の推進を図るよう訴えてきたところでありましたが、新年度予算では、岩村地域ほかの地域公園の未整備地域における検討に向けた予算が計上され推進されることになりました。

恵那市福祉センターあり方検討委員会からの報告について

令和7年度において、市内4箇所にある福祉センターについて今後のあり方について検討された結果、以下のように取り纏められ報告がありました。

- 恵那市福祉センター ⇒ 移設し新設する。
- 岩村・明智・串原福祉センター ⇒ 現状維持とする。

岩邑小学校を活用した学童保育の実施について

保護者及び地域自治区運営協議会から要望が出されておりました岩村学童保育の実施場所の集約について、現状の2箇所から安全性や利便性等を考慮し、小学校内で実施されることになりました。

具体的には、岩邑小学校のランチルーム（右写真）で実施する予定ですが、管理上、若干の工事が必要で、そのための予算は補正で対応するとのことですので、一刻も早い予算化に向け働きかけて行きたいと思っております。

<岩村学童保育の現状>

- 第一学童 利用者約30名、実施場所：獅子舞会館
- 第二学童 // 30名、 // : 岩村いきがい会館



議会会議規則の改正により運用が開始された「反問権」とは？

これまで試行的に委員会において運用されてきましたが、今議会から本会議や委員会でも正式に認めるよう改正がなされました。

反問権は、質問した議員に対し、質問の内容を確認したり論点を明確にするための質問が認められるもので、議論が深まることに期待がされます。

議会以外の主な議員活動

1月4日(日) 自民党恵那市支部・古屋圭司後援会の新年互礼会



毎年、恒例の自由民主党恵那市支部と古屋圭司後援会の合同による新年互礼会が恵那市共同福祉会館で開催されました。私は、支部長を兼ねており、岩村支部からも多くの党员に参加をしていただき、終了後は支部新年会を岩村に戻り開催しました。

1月13日(火) 地域おこし協力隊委嘱状交付式



南谷智恵さんの岩村地域への地域おこし協力隊の委嘱状交付式が市役所で行われ立ち会いました。昨年のインターン期間を精力的に活動され、地域からの期待も大きなものがあり、今後に期待したいと思います。また、本人からも力強いお言葉がいただけ頼もしい限りです。

1月29日(木) 経済建設委員会の管内視察



常任委員会の管内視察は、本年度に実施又は新年度に予定されている事業の現地を視察し、審議の参考にするため毎年行われています。雪が舞うとても寒い日でしたので、説明は車中にて行った現場が多くありましたが、事業内容はよく理解できました。

2月8日(日) 衆議院議員選挙にて13回目の当選



古屋圭司候補の選挙運動に関して、準備期間は短くしかも選挙期間中は2度しか地元に戻れない中で、たいへん心配をしながらの選挙運動でしたが、結果、当選を果たすことができました。引き続き国政、地域のため頑張ってくださいと思います。

2月21日(土) 南谷智恵さんの歓迎会



岩村地域自治区運営協議会において、今年から地域おこし協力隊として岩村のまちづくりに協力いただく、南谷智恵さんの歓迎会が茅の宿とみだで開催されました。今後の岩村のまちづくりにおける課題等が語り合われ、強い絆ができた会だったと思います。

3月6日(金) 岩邑中学校最後の卒業式



第79回岩邑中学校最後の卒業証書授与式が執り行われました。この卒業生は、コロナの影響を受けてきた学年とのことで、卒業式ではやりたい事を全て行かせたとの校長からの説明があった通り、例年より時間を多く費やしての心に残る卒業式でした。

3月8日(日) ポーランドパピリオン木組モニュメント完成式典



大阪万博で博覧会国際事務局から展示デザイン部門の金賞を受賞した、ポーランドパピリオンの木組モニュメントの移設完成式典が恵那北中学校で開催され、駐日ポーランド共和国全権特命大使を始め多くのご来賓を迎えて盛大に執り行われました。

3月22日(日) 岩邑中学校閉校式



79年間の歴史と共に、7,609名の卒業生を送り出した岩邑中学校の歴史は、校旗返納後の教育長による閉校宣言で幕を閉じました。午後からは、閉校イベントとして“最初で最後の岩中閉校学祭”が開催され、多くのイベントともに沢山の来場者が訪れていました。

一般質問の概要

今回の一般質問では、私がテーマとして掲げている「希望のもてる地域づくり」に沿い、新年度から新たにスタートする第3次恵那市総合計画の内容と推進に向けての考え方を伺いました。特に、総合計画にかかげられている「土地利用構想」の実現が、これから人口が減少していく中で早急に取り組むべきことだと考えていますので、その辺りを中心に質問を行いました。以下に、質問と答弁の重要な部分に焦点を当てお知らせします。

□土地利用構想の具現化に向けた取組について

恵那市の将来像としている土地利用構想の具現化に向けた取組についての考えはあるのか？

(回答)

土地利用構想は、恵那市の将来のまちづくりの方向性を示すものとして第2次恵那市総合計画から位置付けられ、この実現に向かいこれまで都市計画マスタープランの高度版として立地適正化計画の策定を進めて来たところである。将来像の実現には、この土地利用構想に基づく土地利用の推進が不可欠だと考えており、第3次恵那市総合計画の各取組みの中で、ソフト、ハードの両面で土地利用構想の具現化を念頭において進めていきたい。

答弁者：まちづくり企画部長

□第3次恵那市総合計画の推進について

20年後の恵那市の将来像を実現するための市長の意気込みは？

(回答)

未来ビジョン2045(第3次恵那市総合計画)の実現は、なかなか簡単ではなく、たいへんに厳しい道のりかもしれませんが、20年後には、日本だけでなく世界から住みたいランキングで1番がもらえるような大きな期待をしている。

その実現に向けては、市民の一人、一人がこの未来ビジョンの主役で、そしてスタッフでもあります。力を合わせて一緒に暮らしの未来を切り開いていきたいと思っておりますので、皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

答弁者：市長

議事を終えて

衆議院議員総選挙の結果により、国会の勢力図に大きな変化が見られるなかで、恵那市においても新年度から第3次恵那市総合計画のスタートを迎えます。恵那市にとって最大の課題である人口減少対策に立ち向かい、様々な施策の展開が図られるものと考えています。こうした節目の年でもあり、新たなスタートラインに立ったことを契機に、既成概念にとらわれることなく、皆さんと共に考え「希望のもてる地域づくり」に邁進していく所存ですので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

インフォメーション

取り組の詳細や日々の活動は、以下からご覧ください。

○ウェブサイト <https://ccm.enat.jp>

○Facebook

○Instagram

※ 後援会への入会は随時受付しています。入会はウェブサイトからお願いします。

※ 次回は、6月議会終了後に発行する予定です。

※ ご意見、ご感想をお聞かせください。

